

TOPICS

最新環境設備を導入した 次世代型LSIグリーンファクトリー、始動。

三重工場新棟の取り組み

2005年4月、約307,000m²の敷地を有する三重工場(三重県桑名市)に、90nmおよび次世代の65nmに対応した300mm大口径ウェーハ採用のロジックLSIの量産設備をもつ新棟が始動しました。

約12,000m²のクリーンルームを擁する新棟は、富士通グループの最新のグリーンファクトリーとして、地球温暖化防止、廃棄物発生削減、化学物質排出削減など、さまざまな環境負荷低減に取り組んでいます。



三重工場新棟

設備面での環境配慮

地球温暖化防止のために

重油の全廃

重油ボイラーを廃止し、都市ガス燃焼小型ボイラーに変更

PFC除害装置導入

CO₂以外の温室効果ガスの排出削減

NAS型電池システム導入

夜間電力活用による負荷平準化

局所クリーンルームの導入

空調用エネルギーの削減

太陽光&風力発電の導入

駐車場照明の発電用として使用



都市型ガス燃焼
小型ボイラー



NAS型電池



PFC除害装置



太陽光&風力発電

廃棄物発生削減のために

稼働時からのゼロエミッション化

廃硝フッ酸、廃硫酸の分別回収による再資源化

廃棄物発生量の削減

アルカリ濃縮装置の導入



アルカリ濃縮装置

化学物質排出削減のために

窒素、リン排出量の削減

排水処理工程への生物処理工程導入

フッ素排出量の削減

フッ素2次処理装置の導入



フッ素2次処理装置

地震対策

世界初「ハイブリッド免震構造」を採用

環境負荷低減対策のほか、震災におけるリスク対策も実施しています。新棟は、建物と基礎との間に3種類の免震装置(積層ゴム、オイルダンパー、剛すべり)を設置したことで、通常時には微振動を抑制、地震発生時には震度6強までの揺れを抑え、生産ラインを守ります。

また、地震による環境汚染リスク、人災リスクも最小化できます。



免震装置
(積層ゴム支承)



免震装置
(剛すべり支承)



免震装置(オイルダンパー)